

THREEUP

ハイブリッド式 排熱レス スポットエアコン

DL-T2502

取扱説明書

目次

はじめに

安全上のご注意	1~4
パッケージ内容	4
仕様	4
各部のなまえ	5

ご使用前に

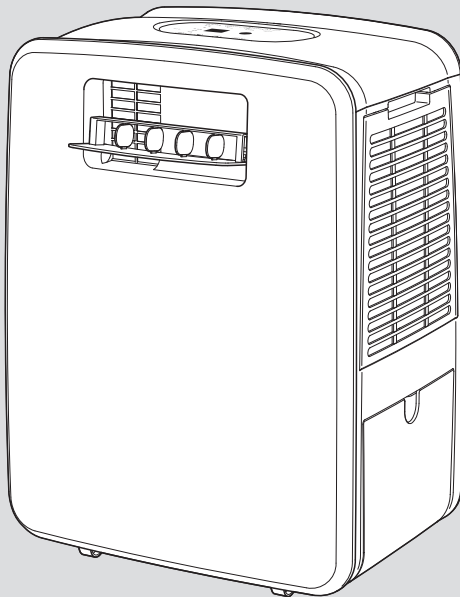
知っておいていただきたいこと	6
設置について	7
リモコンについて	7

ご使用方法

運転する	8
停止する	8
運転モードを切り替える	9
運転モードの動作内容	9~11
設定温度を変更する	12
設定湿度を変更する	13
風量を切り替える	14
オフタイマーを使う	15
オンタイマーを使う	16
おやすみモードを使う	17
風向きを変える	18
水タンクの水が少なくなると	18
水タンクが満水になると	18
水タンクの給水/排水について	19

点検・修理

お手入れと保管方法	20~21
長期使用製品についてのご注意	21
製品の廃棄について	21
故障かな?と思ったら	22
保証・サービス	裏表紙



本製品は日本国内専用です。



このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してご利用ください。

はじめに








安全上のご注意

火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。
また、各部に破損や亀裂、変形などの損傷がないことをよく点検してください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。
--	-----------------------------------	---	---------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

   	この図記号は「禁止」されている内容です。	  	この図記号は必ずお守りいただく「指示」内容です。
--	----------------------	---	--------------------------

警告



分解禁止

分解や修理、改造をしないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。修理が必要な場合は、スリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。



プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による火災、感電の原因になります。



水ぬれ禁止

浴室などの湿気が多い場所、水のかかる場所では使用しないでください。
本体やリモコンを水につけたり、水をかけたりして丸洗いはしないでください。
漏電、感電、火災、故障の原因になります。



禁止

お子様だけで使わせしないでください。
感電やケガ、事故の原因になります。

屋外や直射日光の当たる場所で使用しないでください。
絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の原因になります。



禁止

高温になる場所や湿気やホコリの多い場所に放置、保管しないでください。
動作異常のおそれがあり発煙、発火の原因になります。

火気に近づけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本体の変形によるショートや発火、冷媒配管やドレン配管の破損、冷媒が漏れる原因になります。

本体のすき間や可動部にピンや針金などの異物を入れないでください。
感電や故障の原因になります。

引火性のもの（殺虫剤、ヘアスプレー、ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
また、本体に向けて吹きかけないでください。
爆発や火災の原因になります。

風を長時間、直接身体にあてないでください。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方は注意してください。
健康を害する原因になります。

ストーブやガスコンロなどの燃焼器具に向けて送風しないでください。
火災ややけどの原因になります。

乳幼児の手の届くところにボタン電池を置かないでください。
ボタン電池を誤飲する原因になります。
万一、誤飲した場合はすぐに医師にご相談ください。

ボタン電池を火の中に入れてたり、水に濡らしたりしないでください。
また、分解や加熱をしないでください。
破裂や発熱の原因になります。

送風口や吸気口、排気口をふさいだり、本体を覆ったりしないでください。
衣類やカーテンなどで吸気口、排気口がふさがれたり本体が覆われたりすると、過熱による本体の変形、発火の原因になります。

電源は必ず家庭用100V電源で使用してください。

異なる電圧での使用は発熱により故障、火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグにホコリが付いている場合は、きれいに拭き取ってください。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

警告

電源コードや電源プラグ、アース線を取り扱うときは、次のことを守ってください。

- 電源コードや電源プラグ、アース線を乱暴に扱ったり、重いものをのせたり、機器に挟み込んだり、損傷したものは使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- コンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードや電源プラグ、アース線が破損した場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご相談ください。



必ず守る

ボタン電池を保管、廃棄する際は、電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼ってください。

- 複数のボタン電池が重なり合うと、一方のボタン電池が導線として働き、電極がショートして破裂や発熱を引き起こし、火災につながるおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住いの市町村の指示に従って廃棄してください。
- ヘアピンやコインなどの導電物と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。

長時間リモコンを使用しないときは、ボタン電池をリモコンから取り出してください。

- 消耗したボタン電池を入れたままにしておくと、液漏れや腐食により、リモコンが故障する原因になります。
- 液漏れを起こした場合は、液に触れないように注意し、すぐに電池を取り出してください。
- 漏れた液が体に付着した場合はよく洗い流してください。万一、液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し、医師にご相談ください。

包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤ってかぶると窒息による死亡の原因になります。

周囲に十分な空間を確保して設置してください。

設置距離について、P.7「設置について」を必ずご確認ください。

使用しない場合は、安全な場所に保管してください。

落下、衝撃、水濡れをする場所は避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。



必ず守る

異常時や故障時は、直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。

《異常/故障例》

- 電源を入れても運転しないときがある。
- 電源コード、電源プラグが触ることができないほど熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 運転中に異音がする。

その他異常と思われたときは、使用せずにスリーアップカスタマーサポートまでお問い合わせください。

漏電遮断器、アース線は必ず接続してください。

故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。



アース線接続

《アース線の接続について》

- コンセントのアース端子に接続してください。
- 漏電遮断器、アース端子がない場合は、別途工事が必要になります。お買い上げの販売店に工事を依頼してください。電気工事は関連する法令・規定に基づき、必ず電気工事士の資格を持った方が行ってください。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース、絶縁物などと接続しないでください。

注意

本製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
故障の原因になります。

高所や足元が不安定な場所では使用しないでください。

落下、転倒などにより、ケガや事故の原因になります。

吸気フィルター（左）／（右）を取り外した状態で運転しないでください。

本体内部にホコリがたまりモーターが過熱するなど、漏電や事故、故障の原因になります。

運転中は本体を移動させないでください。移動させる際は運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障や水漏れの原因になります。

製品の上に物を置いたり、踏み台にしたり、腰掛けたりしないでください。転倒、破損によるケガや事故の原因になります。

押し入れや家具のすき間などの狭い場所に設置しないでください。発熱、発火の原因になります。

衣類の真下やカーテンの近く、本体に衣類をかけて使用しないでください。吸い込みによる故障や事故の原因になります。

薬品などの周囲では使用しないでください。本体のプラスチック部品が劣化し、破損するおそれがあります。

テレビ、パソコン、オーディオ機器などの近くに設置しないでください。テレビ、パソコン、オーディオ機器などに雑音が入る原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存や冷却などの特殊用途には使用しないでください。

- ・保存品の品質低下などの原因になることがあります。
- ・動植物に悪影響を及ぼすおそれがあります。

お手入れには台所用中性洗剤以外は使用しないでください。
塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

市販のエアコン洗浄スプレーは使用しないでください。
製品内部の破損や、排水経路のつまりの原因になります。

ボタン電池を素手で取り扱わないでください。
・電極（+/-）を素手で同時に触ると、一気に放電して、消耗を早める原因になります。
・汗や手油などが付着すると、接触不良の原因になります。

水タンクの中には水道水以外のものを入れないでください。

- ・一般的に水道水は塩素殺菌処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などはカビや雑菌が繁殖しやすくなります。
- ・40℃以上のお湯やアロマオイル、水溶性のアロマ液、化学薬品、汚れた水、芳香剤、洗剤を入れた水などは、製品の変形または故障の原因になります。
- ・満水ライン「MAX」を超えて水を入れないでください。満水エラーが表示され運転が開始できません。

運転中は本体を移動させないでください。

- ・運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、水タンク内部の水を捨ててから移動してください。
- ・排水のために移動する際は、水タンク内部の水がこぼれないよう、慎重に移動させてください。
水が入ったまま本体を強く揺らすと、水が漏れて周囲を濡らす原因になります。

騒音に注意してください。

不安定な場所に設置すると、振動音などにより騒音が発生する場合があります。近隣の迷惑にならないよう注意してご使用ください。



禁止



禁止



必ず守る

⚠ 注意

水タンクは常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

2～3日を目安に新しい水道水と入れ替えてください。

水を入れ替えずに長時間使用すると、雑菌やカビが繁殖して異臭や健康を害する原因になります。

長時間ご使用にならない場合や保管する際は、必ず水を捨てて、十分に乾かしてください。



必ず守る

本製品の性能を維持するため、定期的にお手入れをしてください。

- ・「お手入れと保管方法」に従ってお手入れをしてください。汚れがひどくなると、発熱や故障の原因になります。
- ・長期間使用しない場合は内部の水を捨て、しっかりと乾かしてから保管ください。

運転停止から運転再開までは5分以上空けてください。

電源プラグを差し直した場合や、ブレーカーが落ちた場合も5分以上待ってから運転を開始してください。

すぐに運転を開始すると、圧縮機に負担がかかり故障の原因になります。



必ず守る

ボタン電池は電極 (+/-) の向きに十分注意して装着してください。

正常に動作しない原因や、リモコンの故障の原因になります。

送風口や吸気口、排気口、可動部に指を入れないでください。

ケガの原因になります。



接触禁止

本体内部の熱交換器のアルミフィンに触らないでください。

ケガの原因になります。

パッケージ内容

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

部品名	個数	部品名	個数
本体	1	取扱説明書（保証書付き）本書	1
リモコン（CR2025電池内蔵）	1	—	—

仕様

本体サイズ	幅37.5×奥行28.5×高さ50cm	本体重量	約13.5 kg
材質	ABS、アルミ	電源	AC100V 50/60Hz
冷房消費電力	50Hz/300W、60Hz/350W	1時間あたりの電気代	約10.85円（350W連続運転時）
運転電流	50Hz/3.45A、60Hz/3.64A	運転モード	冷風、除湿（連続/30～90%）、おやすみ、送風
風量設定	強・弱・自動	冷房能力	50Hz/500W、60Hz/600W
コード長	約1.8 m	オン・オフタイマー設定	1～24時間（1時間単位）
最大除湿能力	15 L/日	運転音	約55dB（冷風モード 風量「強」）
自動保護機能	過熱保護、霜付き保護	冷媒	R134A/115g
排水タンク容量	約2.2 L（満水時自動停止）	ルーバー	上下（自動）

※ 製品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。

※ 使用する環境によって、送風口や排気口から出る風の温度は変化します。

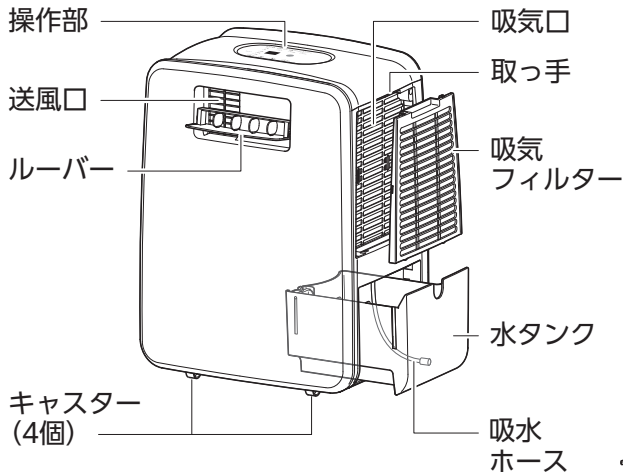
※ 1時間あたりの電気代は、単価31円/kWh（税込）で計算した際の目安となります。

はじめに

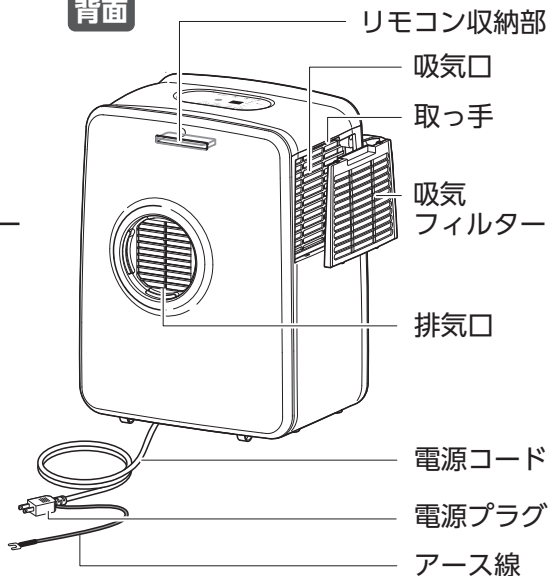
各部のなまえ

■ 本体

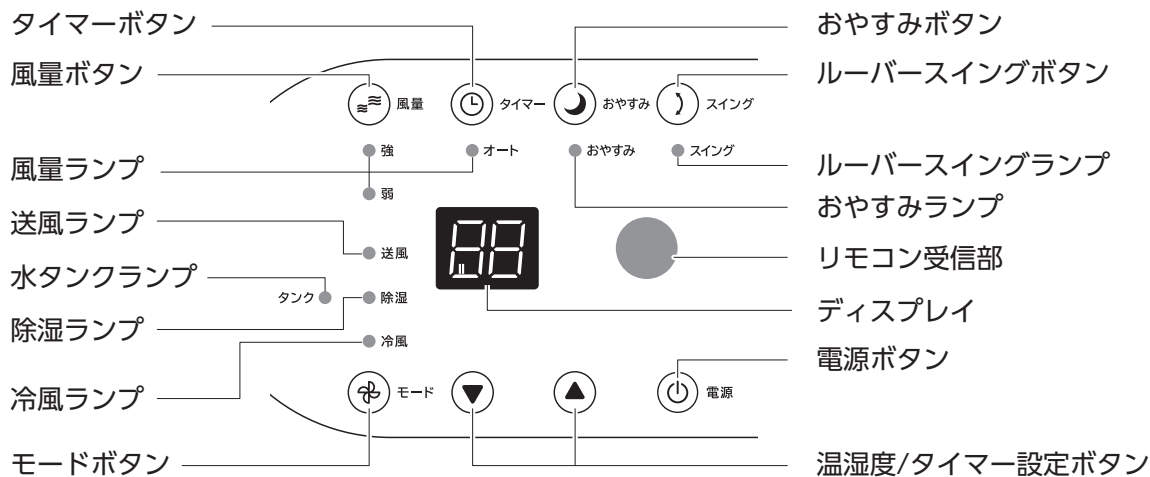
正面



背面

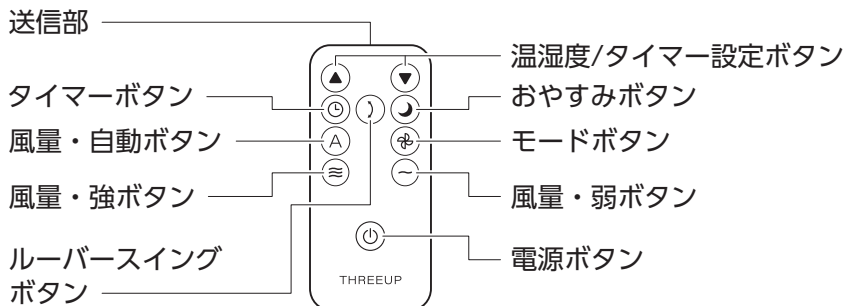


操作部



■ 付属品

● リモコン



ご使用の前に

知っておいていただきたいこと

●本製品は冷房機ではありません

スポット冷風機のため部屋全体を冷房することはできません。

●冷風モード時の排熱レス動作について

本製品は冷風モード時の排気口からの風の温度を下げるため、吸気口から吸い込む風と水タンクから吸い上げた水の両方を利用して、本体内部の発熱部(熱交換器)を冷やしています。

水タンクの水が少なくなると、吸気口から吸い込む風のみで本体内部の発熱部を冷やすため、排気口からの風の温度を下げる効果が少なくなり、排気口からの風の温度が温かくなります。

※水タンクに水がある状態でも、使用環境によっては排気される風が少し温かく感じる場合がありますが、異常や故障ではありません。

※除湿モード時は、本体内部の発熱部を水タンクの水を使わずに吸気口から吸い込む風のみで冷やすため、排気口からの風の温度が温かく感じられます。除湿された水は水タンクに溜まる構造のため、満水となった場合は水タンクの水を捨ててください。

●ご使用環境について(使用可能な室温)

室温17℃～35℃の範囲を目安としてご使用ください。

温度範囲外でのご使用の場合、本体の保護機能によって運転ができない場合があります。

※冷却ユニットに霜がついた場合は一旦運転を停止しますが、霜が溶けたあとに正常運転に復帰できます。

●本体の設定温度動作と周囲湿度表示について

・ディスプレイに表示される湿度は、本体に内蔵されている湿度センサーが感知する製品の周囲湿度となります。設置場所によっては、湿度が正確に表示されない場合があります。

・設定温度に対する動作は、本体に内蔵されている温度センサーが感知する製品の周囲温度によります。設置場所によっては、設定温度に対し正確な温度での動作にならない場合があります。

●移動や保管について

本製品は圧縮機を内蔵していますので、横倒しの状態での移動や保管はしないでください。故障の原因となります。

次のような現象は製品の異常や故障ではありません。

●アルミフィンについて

熱交換器に使用しているアルミフィンは、銅管の接続の際、熱により一部変色していますが、性能に影響はありません。

●においについて

部屋や芳香剤のにおい、化粧品、汗、タバコなどのにおいが本体に付着し、吹き出す風がにおうことがあります。

●音について

・運転開始直後や停止後に「シュルシュル」という音や、運転中に水が流れるような音がすることがあります。これらの音は冷媒が流れる音です。

・運転中に本体から「ピシッ」という小さな音がすることがありますが、これは本体が冷やされて収縮することにより発生する音です。

・本製品は圧縮機が稼働すると、「ビーン」という大きな音が鳴りますが故障ではありません。

・冷房モード時に、ポンプで水を汲み上げる音(キュルキュル音、キュー音)が聞こえることがあります。内部冷却のために水タンクの水を吸い上げる音であり、異常ではありません。

・冷房モードと除湿モード時に、水タンクに水が落ちる音が聞こえることがあります。内部冷却のための水やドレン水が水タンクに落ちる音であり、異常ではありません。

●圧縮機の動作について

『電源』ボタンや『モード』ボタンを操作し、圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わったあと、冷風モードなどに設定してもすぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。これは圧縮機保護のための機能です。

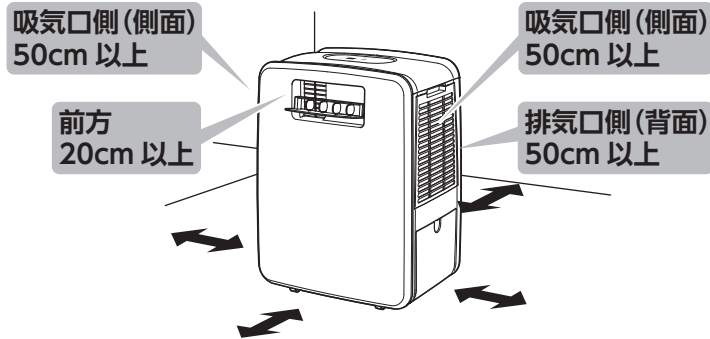
圧縮機が再度「ON」になるまで約3分程お待ちください。

※ご使用の環境によって時間が長くなる場合があります。

ご使用の前に

設置について

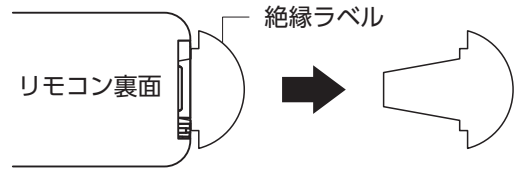
- 水平で安定した場所に設置してください。
不安定な場所で使用すると、転倒や振動音が発生したり、水が漏れたりする原因になります。
- 吸気口と排気口は、壁や障害物から50cm以上離してください。
- 本製品の本体重量は約13.5kgです。重量に十分耐える場所に設置してください。
畳の上や、やわらかいフローリングの上などの傷がついたり、設置の跡が残ったりする可能性がある場所には設置しないでください。



リモコンについて

工場出荷の段階でボタン電池が装着されています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてください。

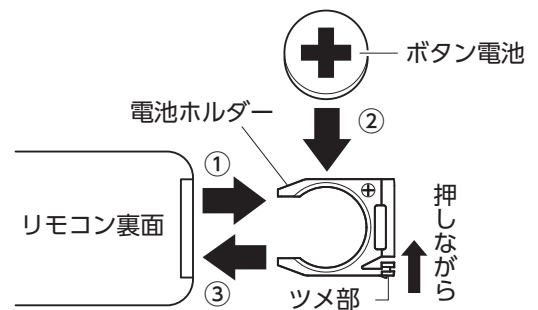
※製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。



■ ボタン電池の交換方法

使用するボタン電池は「CR2025」です。

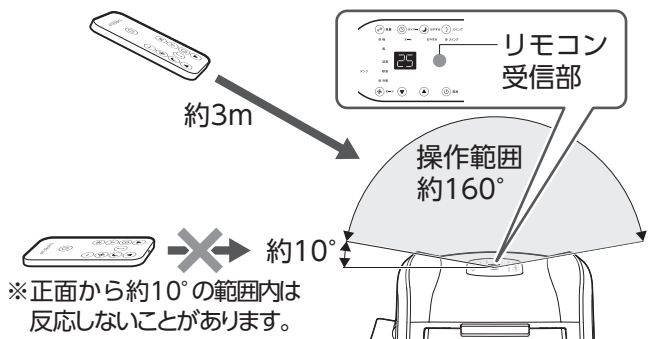
- ① リモコン裏面の電池ホルダーのツメ部を、矢印方向に押しながら引き抜きます。
- ② 新しいボタン電池の【+】を上にして装着します。
- ③ 電池ホルダーを「カチッ」と音がするまではめ込みます。



■ 操作範囲

リモコンの送信部を本体のリモコン受信部に向けて使用してください。操作距離は直線で約3mです。

テレビやオーディオのリモコンなどを使用した際、まれに本体が反応して動作することがあります。これは本製品と同じ周波数を利用している機器で起きる現象です。
このような場合は本体に影響しない場所でご使用ください。



ご使用方法

運転する

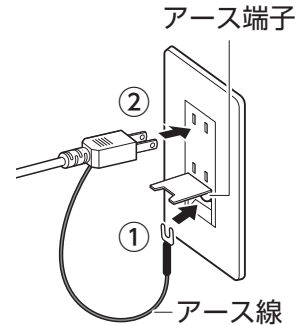
■ 運転のはじめかた

① アース線をアース端子に接続します。

アース線は必ず接続してください。故障や漏電した場合、感電するおそれがあります。

《アース線の接続について》

- コンセントのアース端子に接続してください。
- 漏電遮断器、アース端子がない場合は、別途工事が必要になります。お買い上げの販売店に工事を依頼してください。電気工事は関連する法令・規定に基づき、必ず電気工事士の資格を持った方が行ってください。
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース、絶縁物などと接続しないでください。



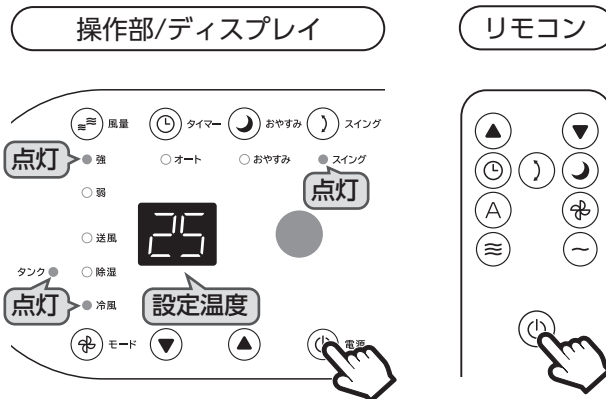
② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

”ピーツ”と電子音が鳴って、全てのランプとディスプレイが点灯したあとに消灯します。同時にルーバーが一度開閉して待機状態となります。

③ 操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押します。

『冷風』ランプ、『風量』ランプ「強」、『ルーバースイング』ランプ、『水タンク』ランプが点灯し、ディスプレイに設定温度が表示されて運転を開始します。

- 操作部とリモコンのボタン操作時は、”ピーツ”と電子音が鳴ります。
- 初めてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、冷風モードで運転を開始して、設定温度は「25℃」、風量は「強」、ルーバースイング運転「ON」となります。



メモ

- 『冷風』ランプが点滅する場合は、周囲温度よりも設定温度が高くなっている場合があります。
- 水タンクに水が入っている場合は、『水タンク』ランプは点灯しません。

減灯機能

操作しない状態が約1分間続くと、操作部のランプは減灯します。

停止する

■ 停止のしかた

運転中に操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、全てのランプとディスプレイの表示が消灯し、ルーバーが閉じて運転が停止します。

メモリー機能

- 一度運転を停止させて再びご使用になるときは、停止時の設定で運転を再開します。(オフタイマー設定とおやすみモードは除く)
- 電源プラグを差し直した場合はリセットされます。

ご使用方法

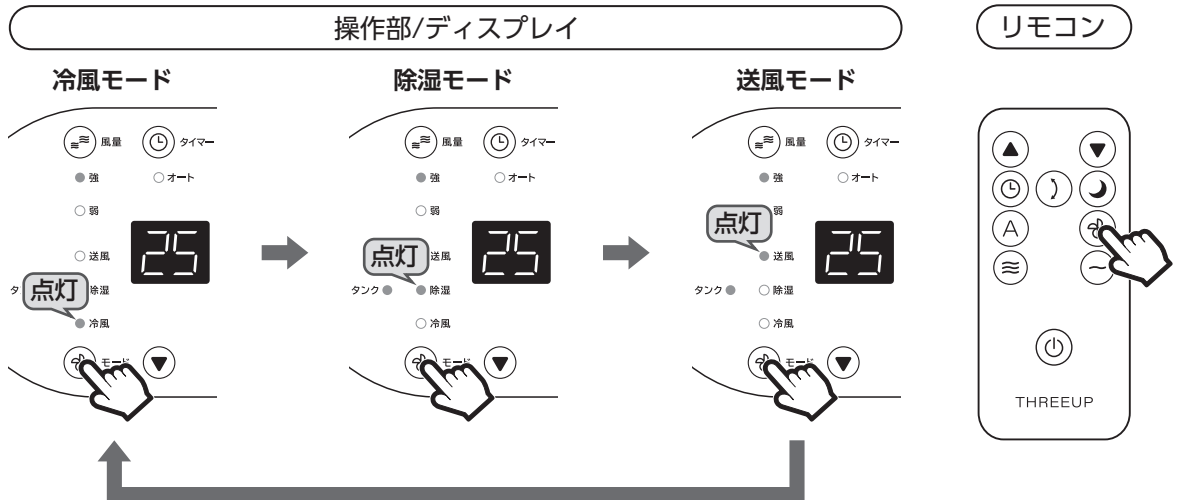
運転モードを切り替える

■ 運転モードの切り替えかた

運転中に操作部またはリモコンの『モード』ボタンを押します。

『モード』ボタンを押すたびに下図の順で運転モードが切り替わり、設定にあわせて点灯する運転モードランプも切り替わります。

お好みで風量の切り替え、ルーバースイング運転、設定温度、設定湿度、オン/オフタイマーの設定を行ってください。



運転モードの動作内容

■ 冷風モードの動作内容

周囲温度が設定温度よりも高い場合は冷風運転へ、周囲温度が設定温度よりも低い場合は送風運転へ自動で切り替えます。

● 冷風モードの準備について

冷風モード時は排気口からの風の温度が温くなることを抑えるため、水タンクに給水してから運転してください。

詳細は「水タンクの給水/排水について」(P.19)の項目をご確認ください。

● ディスプレイの表示について

ディスプレイには設定温度が表示されます。

ディスプレイ

設定温度 (17 ~ 30℃)



● 設定温度を変更する

初めてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、設定温度は「25℃」となります。お好みにより設定温度を変更してください。

詳細は「設定温度を変更する」(P.12)の項目をご確認ください。

● 冷風運転と送風運転の自動切り替えについて

- 周囲温度が設定温度以下になると、『冷風』ランプが点灯から点滅に切り替わり、送風運転となります。
- 周囲温度が設定温度より高くなると、『冷風』ランプが点滅から点灯に切り替わり、冷風運転となります。

メモ 周囲温度が設定温度より高くなっても、送風運転に切り替わってから約3分以上は圧縮機保護のため、冷風運転に切り替わりません。

● 冷風モードの動作音について

ポンプで水を汲み上げる音(キュルキュル音、キュー音)や、水が落ちる音が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。

● 水タンクの水が少なくなった場合

『水タンク』ランプが点灯します。水が少なくなったまま使用を続けると、排気口からの風の温度が温くなるため、水タンクに給水してください。

詳細は「水タンクの水の給水/排水について」(P.19)の項目をご確認ください。

■ 除湿モードの動作内容

部屋の空気を取り込んで水分を水タンクに排出し、乾燥した冷風を送り出します。

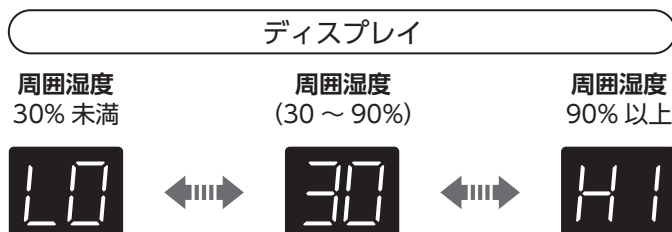
● 除湿モードの準備について

除湿モード時は除湿されたドレン水が水タンクに溜まります。水タンクに水が入っている場合は、必ず水を捨ててから運転してください。

詳細は「水タンクの水の給水/排水について」(P.19)の項目をご確認ください。

● ディスプレイの表示について

- ディスプレイには周囲湿度が表示されます。
- 周囲湿度が30%未満では「Lo」、90%を超えると「Hi」を表示します。



● 設定湿度を変更する

初めてお使いになる場合や電源プラグを差し直した場合は、設定湿度は「CO」(連続運転)となります。お好みにより設定湿度を変更してください。

詳細は「設定湿度を変更する」(P.13)の項目をご確認ください。

ご使用方法

● 除湿運転と送風運転の自動切り替えについて

- 周囲湿度が設定湿度より2%未満になると、『除湿』ランプが点灯から点滅に切り替わり、送風運転となります。
- 周囲湿度が設定湿度より3%以上になると、『除湿』ランプが点滅から点灯に切り替わり、除湿運転となります。
- 設定湿度を「CO」にすると、周囲湿度に関係なく連続で除湿運転します。

メモ 周囲湿度が設定湿度より3%以上でも、送風運転に切り替わってから約3分以上は圧縮機保護のため除湿運転に切り替わりません。

● 風量の切り替えについて

除湿モード時は風量「自動」の設定はできません。

● 除湿モードの動作音について

水が落ちる音が出る場合がありますが、故障や異常ではありません。

● 水タンクが満水になった場合

ディスプレイにエラーコード「E4」と表示され、運転が停止します。
水タンクの水を捨ててください。

霜付き保護動作

- 冷風モードまたは除湿モード時に本体内部の霜付き保護検知機能が作動すると、冷風運転または除湿運転が停止して、ディスプレイの表示が「dF」になり、自動で送風運転に切り替わります。
ディスプレイの表示が元に戻ると、設定されている運転モードで運転を再開します。
- 霜付き保護動作中に操作部またはリモコン操作を行うと、設定変更後にディスプレイの表示が再度「dF」に切り替わります。

ディスプレイ



■ 送風モードの動作内容

設定した風速（強/弱）で風を送り出します。

● ディスプレイの表示について

ディスプレイには「-」が表示されます。

ディスプレイ



● 風量の切り替えについて

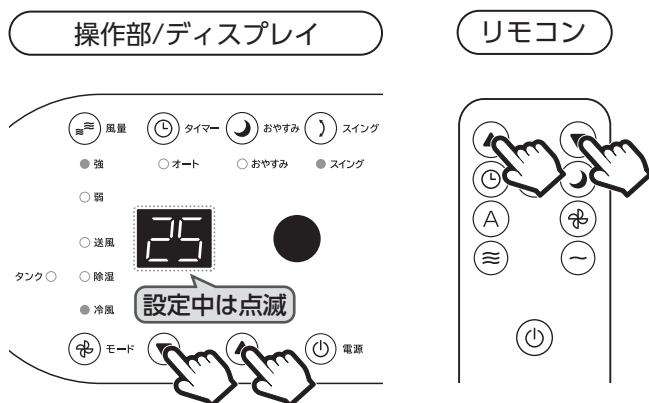
送風モード時は風量「自動」の設定はできません。

設定温度を変更する

冷風モードとおやすみモード（冷風）時に設定温度を変更できます。

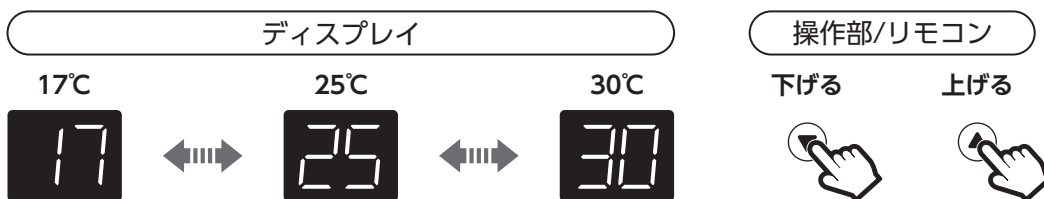
■ 設定温度を変更する

- ① 冷風モードまたはおやすみモード（冷風）の運転中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押すと、ディスプレイの設定温度表示が点滅します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押して温度を設定します。

- ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
- 『温湿度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1℃単位で上がり、「▼」を押すたびに1℃単位で下がります。
- 温度は17℃～30℃の範囲で設定できます。



- ③ ディスプレイが点灯になると、設定完了となります。

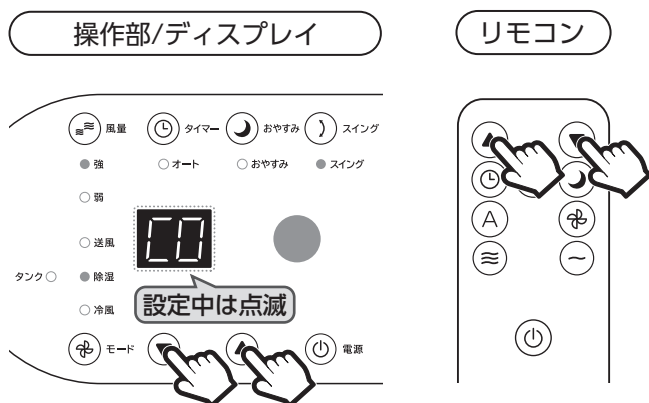
ご使用方法

設定湿度を変更する

除湿モードとおやすみモード（除湿）時に設定湿度を変更できます。

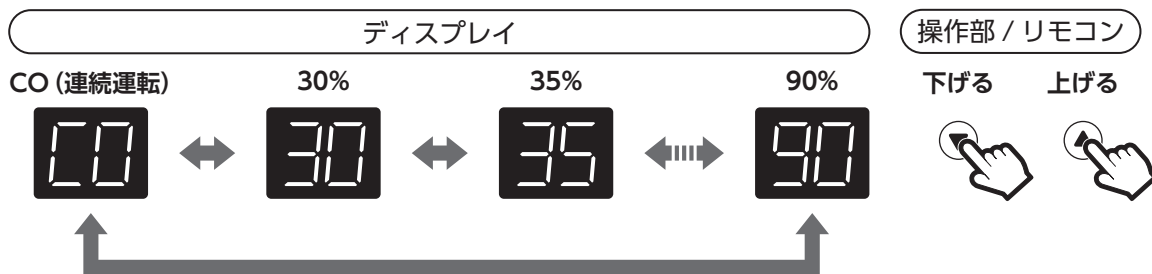
■ 設定湿度を変更する

- ① 除湿モードまたはおやすみモード（除湿）の運転中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押すと、ディスプレイが周囲湿度表示から設定湿度表示に切り替わり点滅します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押して湿度を設定します。

- ディスプレイの点滅時間は約5秒間です。
- 『温湿度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに5%単位で上がり、「▼」を押すたびに5%単位で下がります。
- 湿度は30%～90%の範囲で設定できます。
- 30%のときに「▼」を押した場合と、90%のときに「▲」を押した場合は、「CO」表示となり連続運転で動作します。
- 初めてお使いになる場合や、電源プラグを差し直した場合の設定湿度は「CO」となります。



- ③ ディスプレイが点灯になると、設定湿度表示から周囲湿度表示に切り替わり、設定完了となります。

メモ

設定湿度を確認したいときは、本体またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンを押すと、設定湿度を約5秒間点滅表示します。

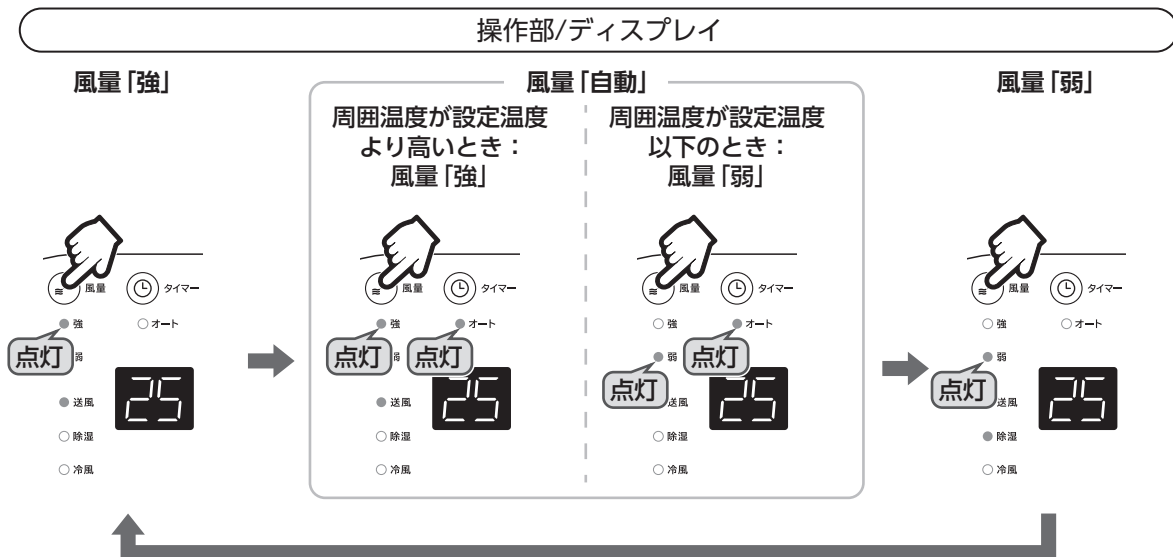
風量を切り替える

風量の「強」、「弱」、「自動」を設定します。

■ 風量を切り替える

◎ 本体操作で切り替える

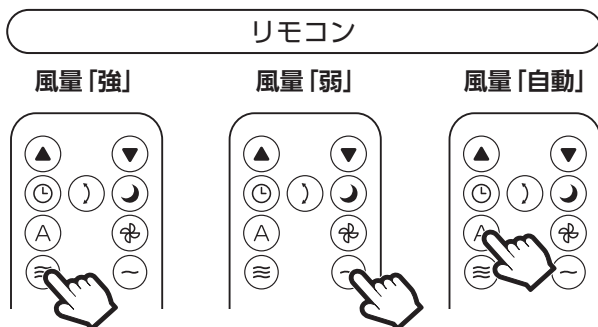
操作部の『風量』ボタンを押すたびに風量が「強」、「自動」、「弱」の順に切り替わり、設定にあわせて点灯する『風量』ランプも切り替わります。



◎ リモコン操作で切り替える

お好みの風量になるボタンを押して切り替えます。設定にあわせて点灯する『風量』ランプも切り替わります。

- 風量「強」 ⇨ 『風量・強』ボタンを押す。
- 風量「弱」 ⇨ 『風量・弱』ボタンを押す。
- 風量「自動」 ⇨ 『風量・自動』ボタンを押す。



メモ

風量「自動」は、冷風運転とおやすみモード(冷風)時に設定できます。除湿運転と送風運転時は、風量「自動」の設定ができません。

■ 風量「自動」設定時の動作について

設定温度と周囲温度にあわせて風量「弱」と「強」が自動で切り替わります。風量ランプは、「自動」と動作中の風量「強」または「弱」が同時に点灯します。

◎ 風量ランプ「弱」点灯のとき

周囲温度が設定温度より高くなると、風量「強」に切り替わります。

◎ 風量ランプ「強」点灯のとき

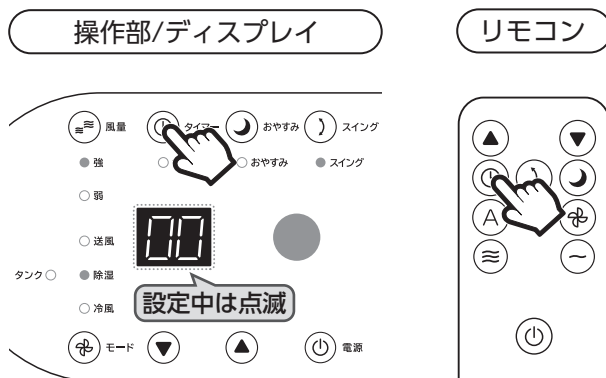
周囲温度が設定温度以下になると、風量「弱」に切り替わります。

オフタイマーを使う

1～24時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を停止します。

■ オフタイマーを設定する

- ① 運転中に操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイがタイマー設定表示「00」に切り替わり、ディスプレイが点滅します。



- ② ディスプレイの点滅中に、操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンまたは『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。
- ・『温湿度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1時間単位で増え、「▼」を押すたびに1時間単位で減ります。
 - ・『タイマー』ボタンは、押すたびに1時間単位で増えます。



- ③ 時間を設定したあとディスプレイが点灯になると、元の表示に切り替わって設定完了となります。
設定時間を確認したいときは、操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押すと、設定時間を約5秒間点滅表示したあと、元の表示に戻ります。

■ オフタイマーを解除する

もう一度操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。
ディスプレイの点滅中に時間の設定を「00」にあわせて点灯するまで約5秒待つと、オフタイマーが解除されます。

オンタイマーを使う

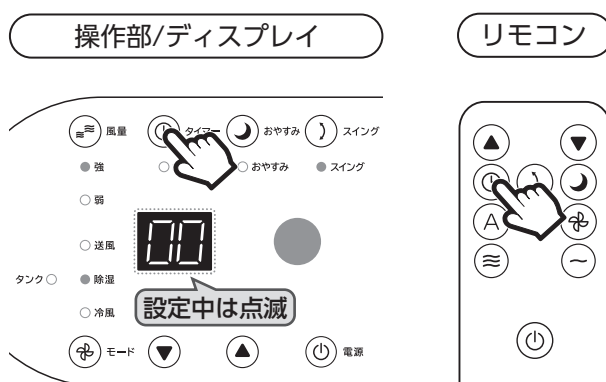
1～24時間の範囲で1時間ごとに設定でき、設定時間が経過すると自動で運転を開始します。

■ オンタイマーを使う

- ① 運転中に運転を開始するときの運転モード設定を行い、設定完了後に運転を停止して待機状態にします。

※オンタイマー設定中は運転モード設定の変更ができません。

- ② 待機状態のときに操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。ディスプレイがタイマー設定表示「00」に切り替わり、ディスプレイが点滅します。



- ③ 操作部またはリモコンの『温湿度/タイマー設定』ボタンまたは『タイマー』ボタンを押して時間を設定します。

- 『温湿度/タイマー設定』ボタンは、「▲」を押すたびに1時間単位で増え、「▼」を押すたびに1時間単位で減ります。
- 『タイマー』ボタンは、押すたびに1時間単位で増えます。



- ④ 時間を設定したあと、ディスプレイの表示が点滅に切り替わると、設定完了となります。

※時間経過にあわせて残り時間は減少します。

■ オンタイマーを解除する

もう一度操作部またはリモコンの『タイマー』ボタンを押します。

ディスプレイの点滅中に時間の設定を「00」にあわせて点灯するまで約5秒待つとオンタイマーが解除されます。

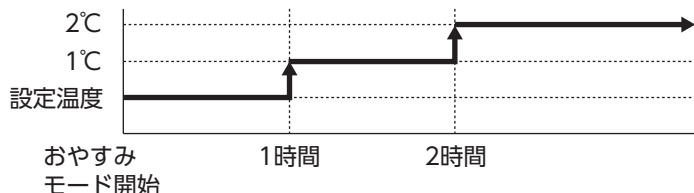
ご使用方法

おやすみモードを使う

ディスプレイと各ランプが消灯して運転します。

おやすみモード(冷風)時のみ、設定温度から1時間後に1℃上昇し、2時間後にさらに1℃上昇します。

■ おやすみモード(冷風)の動作内容



2時間経過後は、電源を切るかオフタイマー設定で停止するまで運転を続けます。

■ おやすみモードを設定する

- 運転中に操作部またはリモコンの『おやすみ』ボタンを押すと、風量が「弱」に切り替わって『おやすみ』ランプが点灯し「おやすみ」モードが設定されます。
おやすみモード設定後は、操作しない状態が約10秒つづくとお操作部のランプが消灯します。
- 操作部のランプが消灯しているときに操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押すと、操作部のランプが点灯します。
操作部のランプが点灯中に、お好みにより、運転モード、設定温湿度、風量、ルーバースイング、オフタイマーの設定を変更してください。操作しない状態が約5秒つづくとも再度消灯します。
- 冷風設定時は、風量ボタンで風量「強」、風量「自動」への変更ができます。
除湿設定と送風設定時は、風量「強」への変更ができます。

操作部/ディスプレイ

◎例：設定温度25℃の場合

設定時



操作しない状態が約10秒経過後

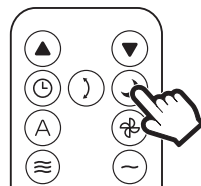


■ おやすみモードを解除する

操作部が消灯しているときに操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押して、操作部のランプを点灯させます。

操作部のランプが点灯しているときに、操作部またはリモコンの『おやすみ』ボタンを押すと、『おやすみ』ランプが消灯して、おやすみモード設定が解除されます。

リモコン



メモ オンタイマー設定中は、おやすみモードの設定ができません。

風向きを変える

ルーバーの向きを上下にスイングして風向きを変えます。

■ ルーバースイング運転を停止する

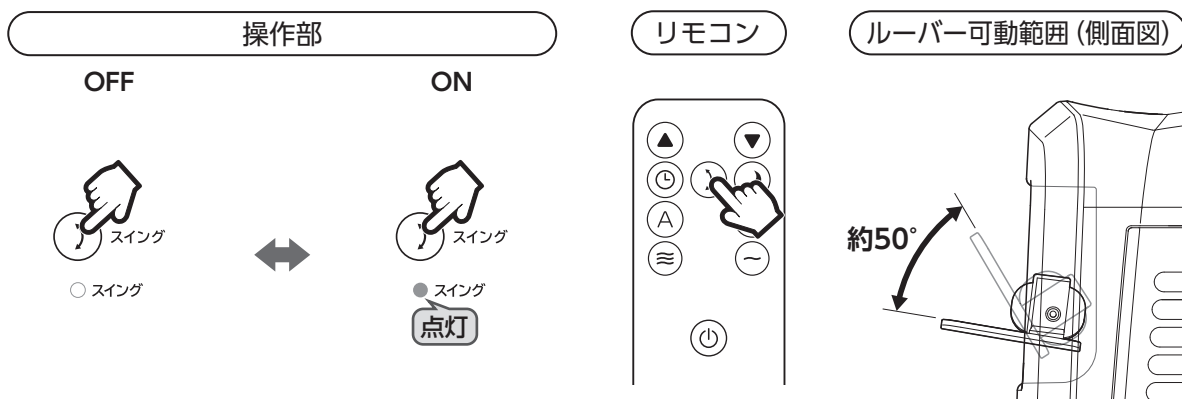
ルーバースイング運転中に操作部またはリモコンの『ルーバースイング』ボタンを押すと、『ルーバースイング』ランプが消灯してルーバースイング運転を停止します。

■ ルーバースイング運転を開始する

ルーバーの停止時に操作部またはリモコンの『ルーバースイング』ボタンを押すと、『ルーバースイング』ランプが点灯してルーバースイング運転を開始します。

ルーバースイング運転中は上下方向に約50°の範囲でルーバーが可動します。

初めてお使いになる場合や、電源プラグを差し直した場合は、運転の開始にあわせてルーバースイング運転も開始されます。



水タンクの水が少なくなると

水タンクの水が少なくなると『水タンク』ランプが点灯します。



水タンクが満水になると

除湿モード時に水タンクが満水になると、ディスプレイに「E4」と表示されて運転を停止します。

水タンクの水を捨ててください。



ご使用方法

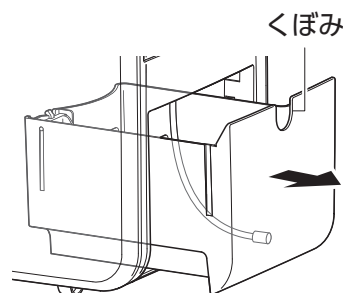
水タンクの給水/排水について

■ 水タンクを取り外す

- ① 運転中の場合は、必ず運転を停止する。
- ② 水タンクのくぼみに指先を入れてまっすぐに引き出します。
水タンクを取り外すと、ディスプレイに「E4」と表示されます。
※運転したままで取り外すと、自動的に運転停止します。

注意

- 水が入った状態で水タンクを取り外すときは、水タンクを水平にして、まっすぐにゆっくりと取り外してください。勢いよく取り外すと、水がこぼれる原因になります。
- 吸水ホースに残った水が流れ出てくる場合があります。流れ出てきた水はタオルなどで拭き取ってください。拭き取らずにご使用を続けると、水が漏れて床が濡れる原因になります。



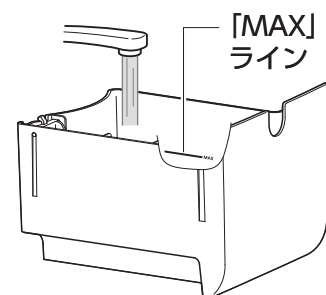
■ 給水する

水タンク内側にある水位表示の「MAX」ラインを確認しながら水道水を入れます。

水タンクの容量は約2.2Lです。

注意

- 「MAX」ラインを超えて水を入れて本体に取り付けると、ディスプレイに「E4」と表示されて運転を開始できません。
- 続けて使用される場合は2～3日を目安に新しい水道水と入れ替えてください。



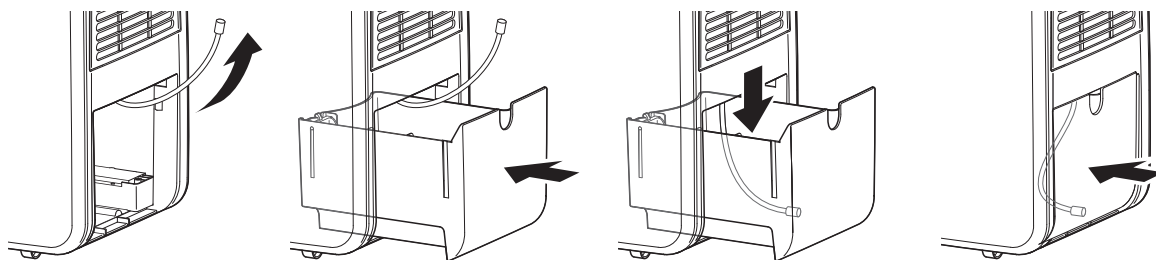
■ 排水する

洗面台などに水を流して捨てます。

■ 水タンクを取り付ける

吸水ホースを水タンクの中に必ず入れて、本体に取り付けます。

- ① 吸水ホースを持ち上げる。
- ② 水タンクを途中まで差し込む。
- ③ 吸水ホースを水タンクに入れる。
- ④ 水タンクを奥まで押し込む。



水タンクを取り付けると、ディスプレイの表示とすべてのランプが消灯し待機状態となります。操作部またはリモコンの『電源』ボタンを押すと、引き続き運転を開始します。

注意

- 水が入った状態で水タンクを取り付けるときは、水タンクを水平にして、まっすぐにゆっくりと取り付けてください。勢いよく取り付けると、水がこぼれる原因になります。
- 吸水ホースが水タンクに入っていないと、排気口からの風の温度が温くなる原因になります。

お手入れと保管方法

警告



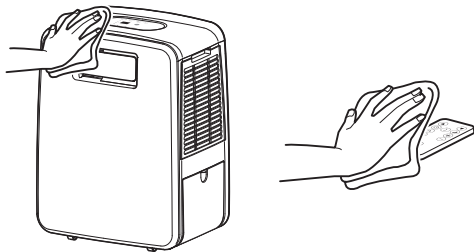
必ず守る

お手入れの際は必ず運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電やケガの原因になります。

■ 本体とリモコンのお手入れ

ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤に浸してよく絞った柔らかい布で汚れを拭き取ります。乾いた柔らかい布で拭いたあと、陰干しをしてしっかりと乾かします。

- お手入れには塩素系/アルカリ系の洗剤や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
- リモコンのボタン電池は取り外してください。



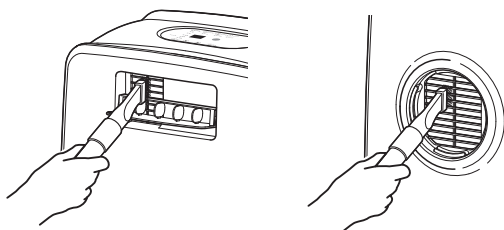
■ 水タンクのお手入れ

- 長期間使用しない場合は、水を捨てたあと、本体と同様のお手入れをしてください。
- 続けて使用する場合は、2～3日を目安に新しい水道水と入れ替え、水タンク内部は常に清潔にしてください。



■ 送風口と排気口のお手入れ

すき間にたまったホコリは掃除機で吸い取ります。

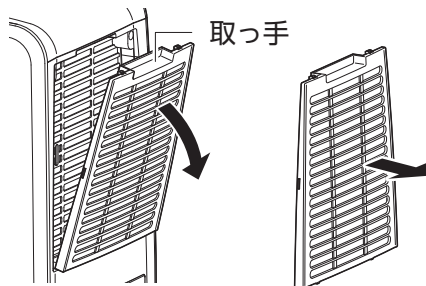


■ 吸気口のお手入れ

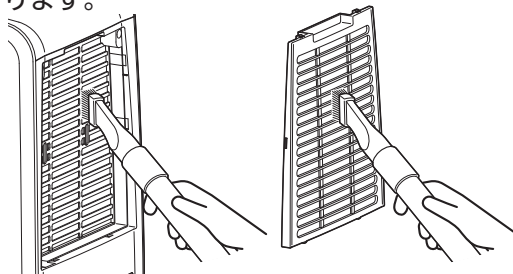
吸気フィルター（右側面と左側面に各1枚）を取り外してお手入れします。

※吸気フィルターは左右で大きさが異なりますが、取り付けかたと取り外しかたは両側とも同じになります。

- ① 吸気フィルター上部の取っ手を指先で押し下げながら手前に引いて取り外します。

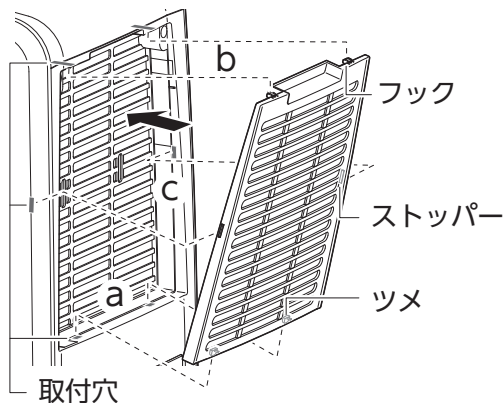


- ② すき間にたまったホコリは掃除機で吸い取ります。



- ③ お手入れのあと、吸気フィルターを本体に取り付けます。

- a. 吸気フィルター下部のツメ（2か所）を吸気口下部の取付穴に差し込みます。
- b. 吸気フィルター上部のフック（2か所）を吸気口上部の取付穴に差し込みます。
- c. 吸気フィルター側面のストッパー（2か所）を吸気口側面の取付穴に押し込みます。



■ 本体内部のお手入れ

長期間使用しない場合は、送風モードで3～4時間運転して内部を乾かします。

■ 保管方法

- お手入れのあとは各部の水分をよく拭き取り、陰干しをしてしっかりと乾かします。湿ったまま保管すると、カビの発生や故障の原因となります。
- リモコンからボタン電池を抜いて、ボタン電池の電極(+/-)にセロハンテープなど絶縁性のテープを貼って保管してください。
- 本体にポリ袋をかぶせ、お買い上げ時の箱などに入れて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。
- 本製品は圧縮機を内蔵していますので、横倒しの状態での移動や保管はしないでください。故障の原因となります。

長期使用製品についてのご注意

長期間の使用により下記のような症状が見られた場合は、すぐに電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートにご相談ください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| ● スイッチを入れてもファンが回らない。 | ● モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。 |
| ● ファンが回っても、回転が不規則に変化する。 | ● 電源コードが折れ曲がったり破損している。 |
| ● 回転するときに異常な音や振動がする。 | ● 電源コードに触れると、電源が切れたり入ったりする。 |

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は右記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。標準的な使用条件を超えて用いた場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火やケガなどの事故に至る可能性があります。製造年は本体ラベルに記載しています。

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。

標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「スリーアップカスタマーサポート」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載しています。

環境条件	電源電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度19℃)
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度24℃)
	設置条件	本書に基づく設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 冷房6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	冷房：9時間/日
	1年間の使用時間	冷房：1008時間/年



【設計上の標準使用期間】 5年

設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

製品の廃棄について

本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用商品ではありません。

廃棄する場合は、専門の回収業者へ委託し、適切に処理してください。




廃棄に関してご不明な点は、各自治体の窓口を確認をお願い致します。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目の確認をお願いします。

症状	考えられる原因	対処方法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがはずれている。 『電源』ボタンを押していない。 リモコンのボタン電池の残量が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに接続してください。 『電源』ボタンを押して運転を開始してください。 製品に付属しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。新しいボタン電池に交換してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> オフタイマーが作動して停止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きご使用になる場合は、『電源』ボタンを押してください。
運転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> 不安定な場所に設置している。 送風口や吸気口などにホコリがたまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 お手入れをしてホコリを取り除いてください。
冷風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 送風口や吸気口などにホコリがたまっている。 『冷風』ランプまたは『除湿』ランプが点滅している。 圧縮機が停止している。 自動保護機能が働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> お手入れをしてホコリを取り除いてください。 冷風モード時は、本体の周囲温度が設定温度以下になると、『冷風』ランプが点滅して冷風から送風に切り替わります。温度設定の温度を下げてみてください。 除湿モード時は、本体の周囲湿度が設定湿度以上になると『除湿』ランプが点滅して冷風から送風に切り替わります。湿度設定の湿度を下げてみてください。 圧縮機が「ON」から「OFF」へ切り替わったあとは、すぐに圧縮機が「ON」にならない場合があります。圧縮機が動くまで約3分程お待ちください。 冷風モードと除湿モード時は、特定の環境になると自動保護機能が働きます。自動保護機能の詳細は、P.11「霜付き保護動作」をご確認ください。
本体から水が漏れる (冷風モード・除湿モード時)	<ul style="list-style-type: none"> 本体が傾いて設置されている。 本体が傾いて状態で移動した。 	<ul style="list-style-type: none"> 水平で安定した場所に設置してください。 本体を移動する際は、傾かないように慎重に移動してください。
排気口の風が温かい	<ul style="list-style-type: none"> 冷風モード時に水タンクの水が少なくなり、『水タンク』ランプが点灯している。 除湿モードで運転している。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクに水を入れてください。 除湿モード時は排気口から温かい風が出ます。
運転中に操作部のランプとディスプレイが消えている	<ul style="list-style-type: none"> おやすみモードが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> おやすみモード設定中は、操作部の表示が消灯したままで運転します。故障ではありません。操作部のいずれかのボタンを押すと約10秒間点灯します。
水タンクが奥まで入らない	<ul style="list-style-type: none"> 吸水ホースが水タンクの中に入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 吸水ホースを水タンクの中に入れてから、水タンクを取り付けてください。

■ エラー表示について エラー発生時はディスプレイに下記のエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラーの内容	対処方法
	温度センサー①が故障した。	直ちに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いてください。 修理が必要なため、お買い上げの販売店またはスリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。
	温度センサー②が故障した。	
	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクが満水になった 水タンクが奥まで取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 水タンクの水を捨ててください。 水タンクを奥まで押し込み、確実に取り付けてください。

※ 上記の点検を行っても異常がある場合は、スリーアップカスタマーサポートまでご連絡ください。

※ 当社ホームページにも「よくあるご質問」を掲載しておりますのでご覧ください。